

さが藻類バイオマス協議会設立趣意書

現代社会は経済活動のグローバル化や地球環境問題の深刻化などの地域を越えた課題や、人口減少、少子・高齢化の進行などの構造的な課題を抱えており、これらの課題の解決を図り、将来にわたって持続可能な地域社会の実現に向けた取組が求められます。

佐賀市は2014年11月にバイオマス産業都市に認定され、「廃棄物であったものがエネルギーや資源として価値を生み出しながら循環するまち」をめざし、2016年8月に清掃工場の排ガスから二酸化炭素を分離回収する国内初の設備を整備しました。

そして、この二酸化炭素をはじめ、下水処理水に含まれる窒素・リンなどを地域の貴重な資源として活かし、他の地域にはない特長的なまちづくりを推進しています。

私たちは、このような状況を地域経済の活性化の絶好の機会と捉え、地域独自のバイオマス資源と併せ、健康食品や化粧品、機能性飼料、バイオ燃料など幅広く商業化が期待できる藻類を活用した事業展開を図り、佐賀の地に藻類産業の集積を押し進めることで、新たな産業の礎を築いていきます。

そして、国内における藻類産業の先駆的地域として、低炭素社会の実現に寄与しながら、新たな産業及び雇用を創出し、さらには産業としての基盤をより強固なものとしていくことで、持続可能な地域社会を創り上げることをめざします。そのための推進組織として、産官学の多様な主体で構成する「さが藻類バイオマス協議会(Saga Algae Biomass Council)」を設立するものです。

平成29年7月10日